



応募者情報

お名前 ふりがな	電話番号(日中の連絡先)
ご住所	電子メールアドレス

応募部門

(☑をつけてください。複数選択可)

- ① “我が家の育児男子” 部門 ② “私の街の育児男子応援団” 部門
 ③ “イクボスさん、いらっしゃい!” 部門

推薦いただく男性やグループ、イクボスさん、エピソードや実践事例の持ち主等に関する情報

お名前 (グループ名)	ふりがな	育児の対象 <input type="checkbox"/> 自分の子 <input type="checkbox"/> 孫 <input type="checkbox"/> その他
ご住所 (代表者住所)	〒	その子の年齢は?
応募者との関係	<input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 夫 <input type="checkbox"/> 妻 <input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 親戚 <input type="checkbox"/> 友人・知人 <input type="checkbox"/> 同僚 <input type="checkbox"/> 上司 <input type="checkbox"/> 所属企業の経営者 <input type="checkbox"/> その他 ()	会社名 (③へご応募の場合)

推薦理由・PRコーナー(ご自身の言葉でご自由にお書きください。字数の制限はありません。)

<部門①②へご応募の方>

特に紹介したい育児内容や子どもとの関わり方、エピソード、取組内容等を、具体的に記入してください。

<部門③へご応募の方>

イクボスさんが、日頃どのように部下の育児と仕事の両立を応援しているか、その内容を具体的に記入してください。

※取組内容のわかる資料や、任意様式に追記していただいたものを添付(別途送付)していただいてもOKです!

同時開催! みえの育児男子フォトコンテスト

撮影時のエピソード

推薦いただいた男性と子どもを撮影したお気に入りの写真を、撮影時のエピソードを添えてお送りください。(10月中旬の表彰式にて「みえの育児男子ベストショット賞」として紹介します。)

※選考にあたっては、電話や面談等により推薦内容についての確認をさせていただきます。

※ご記入いただいた個人情報は、本事業実施にのみ使用し、それ以外の目的では使用いたしません。

※ご紹介いただいた子育ての内容や、お送りいただいた写真等は、表彰式や男性の育児参画推進に関する事業の中で、活用させていただきます。

※お送りいただいた写真や資料等は返却いたしかねますので、ご了承ください。

下記のいずれかの方法によりご応募ください。

①応募フォームによるご応募の場合

WEBサイト内の応募フォームより必要事項をご記入の上、送信してください。

URL : <https://www.shinsei.pref.mie.lg.jp/uketsuke2/sform.do?acs=28father>

②FAX・郵送によるご応募の場合

応募用紙に必要事項をご記入の上、送信(送付)してください。

FAX送信先: 059-224-2270 / 送付先: 〒514-8570 三重県少子化対策課あて(住所記載不要)

※FAXによるご応募の場合、「みえの育児男子フォトコンテスト」用の写真データは、応募者名等を明記の上、記録メディアに入れて郵送していただくか、メールに添付(3.5MBまで)して送信してください。 Mail : shoshika@pref.mie.jp



応募方法

第3回 ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ



ステキな育児をしている男性や、“育ジイ”、“イクボス”などを大募集! としておきの“エピソード”や“実践事例”も大歓迎!



みえの育児男子

フォトコンテストも

同時開催!

(詳細は裏面)



応募資格

三重県内に在住または通勤・通学をしている方(男性・女性問わずご応募いただけます。)

審査・表彰

子育て中の母親等で構成する審査員から「ステキな育児(取組)をしている!」として、より多くの共感を得られた方々を、第3回「ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ」大賞及び部門賞として、10月中旬に表彰します。(表彰式の詳細は、後日お知らせします。)

問い合わせ先

〒514-8570 津市広明町13
 三重県健康福祉部子ども・家庭局 少子化対策課
 TEL : 059-224-2304 FAX : 059-224-2270
 Mail : shoshika@pref.mie.jp

詳しくは [みえの育児男子プロジェクト](#) 検索

応募の詳細は裏面をご覧ください

主催: 三重県 後援: 三重労働局 協力: 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」

協賛: (株)伊賀の里 モクモク手づくりファーム・語らいの里 嘸野・NEMU HOTEL & RESORT・里創人 熊野倶楽部

応募締切

平成28年

8月31日(水)必着

応募部門 (いずれも自薦・他薦ともに可)

1 “我が家の育児男子”部門

自慢のイクメン夫や子どもとの外遊びやスポーツが大好きなお父さん、昔ながらの遊びを教えてくれる孫大好き“育ジイ”など、その人なりの方法や関わり方で、ステキな育児をしている男性を大募集!

2 “私の街の育児男子応援団”部門

お互いの子育てを応援しあっているパパ同士の集まりや、子どもの育ちを応援するためのさまざまな地域活動に取り組んでいる男性やグループ、団体などを大募集!

3 “イクボスさん、いらっしゃい!”部門

子育て等を行う部下の育児参画に理解があり、仕事と育児の両立をしっかりと応援してくれる経営者や上司、先輩など(男性・女性問わず)の日ごろのイクボスぶりを大募集!



ご応募いただいた方の中から、抽選で100名様にみえの育児男子プロジェクト 特製「バスタオル」をプレゼント!



イメージ



第3回「ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ」大賞に輝いた方の中から、下記宿泊施設の無料宿泊券をプレゼント! その他、部門賞もあるよ!

- ・伊賀の里 モクモク手づくりファーム
- ・語らいの里 嘸野
- ・NEMU HOTEL & RESORT
- ・里創人 熊野倶楽部

※ご利用条件の詳細は、賞品提供時にお伝えします。



“我が家の育児男子”部門

こにしたかお
小西 隆緒 さん

伊勢市
推薦者 小西 めぐみさん(妻)
育児対象 お子さん(1歳、15歳、16歳)



僕と妻は再婚です。そして彼女には二人の子どもがいます。現在15歳と16歳です。僕はいきなり難しい年頃の男の子の父親になりました。高校に入学してほっとするまもなく妻の出産がやってきました。2014年4月11日。元気な男の子です。

決して豊かではないこの生活。何せ食べ盛りの食費は凄まじく、負けじと赤ちゃんもミルク飲む飲む！よって産後間もない妻に働いてもらってます。

妻は大学で就職支援の仕事をしています。繁忙期に突入する1月から僕は彼女に代わって家庭を守る「専業主夫」になるため育児休暇をとる決心をしました。会社も許してくれたのが嬉しかったですね。感謝しています。

初めての専業主夫の世界に戸惑いました。社会に関われない疎外感や子守りを続ける事のストレスもあったんですね。

子育てママの気持ちが少しだけ、痛いほどわかりました。ですが、徐々に慣れてくるものですね。離乳食教室に赤ちゃんを抱えて出かける余裕も出来ました。その夜に早速覚えてきた献立を美味しく食べてくれました。

こうして僕は通常、お父さんが出来ない貴重な経験を3か月も出来たのです。

最後にミルク、離乳食、おむつかえ、絵本読み等、奥さんともほぼ対等に張り合える、そう、僕はイクメンパパなんです。

第2回 ファザー・オブ・ザ・イヤール in みえ 受賞者紹介

表彰式 H27.10.12

※文章は一部抜粋しています。全文はホームページをご覧ください。



“我が家の育児男子”部門

おおつか ゆうすけ
大塚 裕介 さん

菟野町
推薦者 大塚 麻衣さん(妻)
育児対象 お子さん(1歳)



我が家の家訓は「早寝・早起き・夕ご飯」。そんな我が家に2人目が授かったのは今年の1月。2人目に喜ぶ間もなく、私はひどいつわりがはじまり、長男は1歳を過ぎたばかりで、まだまだ甘えたい盛り…。やらないといけないことはたくさんあるのに身体は言うことを聞いてくれず、気が付けば我が家の家訓は忘れ去られ、私は長男に対してイライラしてしまうこともありました。

そんな時にうちの夫は1時間の早出勤務を始められました。朝は朝食を準備してから出勤し、夕方5時には帰宅、夕食作り、お風呂に洗濯と大活躍。

1時間勤務時間をずらしたただけなのに、夫と長男の距離は大きく縮まりました。夫の育児参加で余裕が生まれたことで、私自身の精神的負担も大きく減りましたし、その結果家族で笑う時間も今まで以上に増えたように思います。



“私の街の育児男子応援団”部門

パスマイル四日市

四日市市
推薦者 佐藤 保幸さん(「パスマイル四日市」メンバー)
育児対象 自分の子ども・メンバーの子ども



パスマイル四日市は四日市市主催の「父親の子育てマイスター養成講座」の修了生が立ち上げたグループです。「父親が子育てに楽しみながらかわることで父親も子ども母親も笑顔になり子育てしやすい地域を目指す！」をモットーに2014年1月から活動しています。パパ向け講座や父親と子どもの料理教室、家族イベントや絵本読み聞かせなどを実施しています。

<主な活動内容(2014)>

- ・四日市市で開催された全国フォーラムにおいて、四日市市と協働し、分科会「パパのスマイル会議！」を開催。
- ・四日市市男女共同参画センター「はもりあ」における市民企画事業として、「父子の料理教室&ママは女子力アップ」など、父親そして家族が笑顔になるための3回連続講座を開催。
- ・朝日町とアイリスあさひさんの事業の講師として、パパと子どもの参加者に対し、前半は男女共同参画に関するワークショップを開催し、後半はパパと子どもの料理教室を開催。
- ・全国フォーラムなどで培った「パパ活動」のネットワークを活かして、私立図書館による事業実施に結びつけるための橋渡しを行いました。
- ・その他、周辺市町などに出向き、地元のパパさんたちとの交流会や、絵本の読み聞かせなどを実施。

ファザー・オブ・ザ・イヤール in みえ とは？

家庭や地域でステキな子育てをしている男性(=育児男子)や、部下の仕事と育児の両立をしっかりと応援してくれる職場の上司(=イクボス)、とっておきのエピソードや実践事例などを自薦・他薦により募集し、多くの共感を得られた方々を表彰し、その内容を広く県民の皆様に紹介する取組です。

「みえの育児男子プロジェクト※」の一環として実施しており、昨年度の第2回では418件という多数のご応募をいただきました。

※「子育てには男性の育児参画が大切」という考え方が職場や地域社会の中で広まるよう、家族での話し合いや理解のもと、その人なりの方法で、子どもの生き抜いていく力を育てることを大切に考えて、男性が積極的に育児に参画することを応援する取組。

“イクボスさん、いらっしやい！”部門

株式会社山下組
代表取締役社長
やました のぶやす

山下 信康 さん

志摩市
推薦者 本人
育児対象 従業員の子ども



私は創業1916年の建設会社の社長をしております。弊社には女性の監督がおり、その女性は元は現場への派遣事務員でした。彼女が弊社で監督になるまでの道のりを近くで見ている、女性の頑張り、女性ならではの気遣い、男性に負けない仕事っぷり等々を目の当たりにし、私の中で『女性と共に作っていく会社の未来』がぼんやりと見えてきました。また、現在、弊社で役員をしている女性の体験談を聞いて、男は子育てと言っても、やはりその大半が女性の手でゆだねられているという事実と労働力としての女性の素晴らしさを知り、子育てをする女性(あるいは男性も)を応援しなければ、会社の未来は無いと考えるようになりました。

〔取組例1〕以前、事務員の募集をした際に応募してきた女性社員は、当初は『子供の保育所の時間内でパートで働ければ。』と考えていました。しかしながら、私は、『時間は子育てに合わせて出勤すればいい。だから正社員として働いて、働くという事に意味を持たせ、意義を見出してほしい。』と話し正社員になってもらいました。今も、この女性社員は子供を保育所に送ってからの出勤をしており、お迎えがあるので4時には退社しています。

〔取組例2〕自身の子供の学年を対象に弊社が施工している建築現場で現場見学会を行いました。多くの生徒に混じり、私の子供や男性社員の子供などは、父親がどんな所で仕事をしているかを知る機会になったと思います。

〔取組例3〕ある男性社員が離婚した年に、旅行に行きたがらない社員とその子供を誘い、私の車で3人で旅行に行きました。今年の社員旅行も、その子供が一人になるので会社負担で同行させました。



“我が家の育児男子”部門

まつうら
松浦 さん

桑名市
推薦者 妻
育児対象 お子さん(2歳)

約半年の交流期間を経て里子が我が家にやってきたのは昨年のこと。それまで夫婦二人でマイペースに過ごしていた生活が子ども中心の生活に変わりました。とは言っても、子どもと過ごす時間の新鮮さが子育ての大変さより勝り、楽しい生活ですが、少し大変だったのは夫と子どもかもしれません。交流期間の後半は私と過ごすことが多かったため、子どもと夫の間に少し距離が。そして子育てを始めた私と夫の間にいくつか波風が立つことも。その度にどんなふうにするのか、何度も話をしました。その甲斐があつてか、私と夫の間で波風が立つことも少なくなり、いつのまにか夫と子どもの距離も縮まりました。

休日は子どもと過ごすのは主に夫が担当。特に子どもは夫の『高い高い』がお気に入り。また、私が苦手な立体的な遊び(ブロックで怪獣や建物を作ったり)をしたり、好きな車のカタログを二人で見ている。時には子育て支援センターや公園へ二人で出かけることも。子どもも楽しそうですが、出かける時に「少しはゆっくりしたら。」と私に声をかけてくれる気遣いも嬉しいです。

当初は私に懐き夫と二人になると泣いていた子どもも、今ではすっかりパパのことが大好きになり二人で過ごすときも笑顔がでるように。そして私も心に余裕を持ちながら笑顔で育児ができています。

夫は子育てだけでなく家事にも積極的に関わっています。料理以外の家事ならどんとこい。キッチンの片付けが終わらないまま私が疲れて早く寝てしまった時、翌朝キッチンがピカピカだったことが何度もあります。気が付いた方が家事をやればいいという考えの夫にずいぶん助けられています。

ご縁があつて子育てをするようになりましたが、父親が家事・育児に参加することで母親にも余裕が生まれ、家族で子育てを楽しむことができるのだと実感しています。我が家の育児男子に感謝！

この他の受賞された方々

- | | | | | | | |
|----------|---------------|--------------|-------------------|--------------|-------------------|----------------------|
| 大賞 | ●四日市市 清水 正行さん | ●松阪市 奥谷 真さん | ●伊勢市 平尾 亜美さん | ●鈴鹿市 三澤 亜耶さん | ●鈴鹿市 津市 森 宏記さん | ●名古屋(四日市市勤務) 朝熊 莉加さん |
| 部門賞 | ●津市 中世古 健吾さん | ●亀山市 服部 梨恵さん | ●鈴鹿市 立明生小学校 おやじの会 | ●津市 服部 梨恵さん | ●鈴鹿市 立明生小学校 おやじの会 | ●名古屋(四日市市勤務) 朝熊 莉加さん |
| ベストショット賞 | ●四日市市 清水 正行さん | ●松阪市 奥谷 真さん | ●伊勢市 平尾 亜美さん | ●鈴鹿市 三澤 亜耶さん | ●津市 森 宏記さん | ●名古屋(四日市市勤務) 朝熊 莉加さん |